

I. テストベッドの聖地化に向けた取り組み

1. リニアがある山梨が目指す姿

テストベッドを突破口に最先端技術で未来を創るオープンプラットフォーム山梨

「テストベッド」の提供を突破口に、国内外の優秀な研究者等が結集し、新たな産業の創出、関連産業の集積や研究開発機能の拠点の形成により「稼ぐ力」を生み出しつつ、世界に先駆けて新たな価値を創造する近未来の窓口としての地位を確立し、オープンプラットフォームで世界に貢献している山梨を目指す

※「テストベッド」とは実際の運用環境に近い状態で先端技術の実証実験を行う“場”のこと

2. 目指す姿の実現に向けて取り組む施策

施策：地域特性を活かしたテストベッドの聖地化

地域特性を活かした実証実験が盛んに行われる環境づくりを進め、才能豊かな人材の交流を生み出し、新たなイノベーションが創発される「テストベッドの聖地」としての地位を早期に確立し、国内外に向けて情報発信していく山梨への転換を図ることで、更に有能な人材の対流を山梨で引き起こし、その先に見据える関連産業や研究開発機能の集積の原動力となる好循環サイクルの構築によって、県内の良質な雇用の拡大、県民所得の向上に繋げていく

(1) 地域特性を活かしたテストベッド分野 (2) 取り組み手順

優先的に取り組む分野

クリーンエネルギー

世界最高レベルの水素・燃料電池関連技術を駆使して、CO₂フリー水素社会の実現に貢献

その他の地域特性を活かした分野

- ライフサイエンス
- 次世代モビリティ
- 無人配送
- スマート農業
- 自然環境保護・野生鳥獣管理
- 陸上養殖

STEP 1 誘致ターゲットの選定

STEP 2 プロモーション活動

STEP 3 実証実験の環境整備

STEP 4 実証実験の実施

STEP 5 実証実験から社会実装への移行

3. 相乗効果を期待して取り組む施策

施策1：関連産業の集積と研究開発機能の拠点形成

先端技術を有する企業等の集積を加速化させ、新たな産業を興す一大拠点を形成

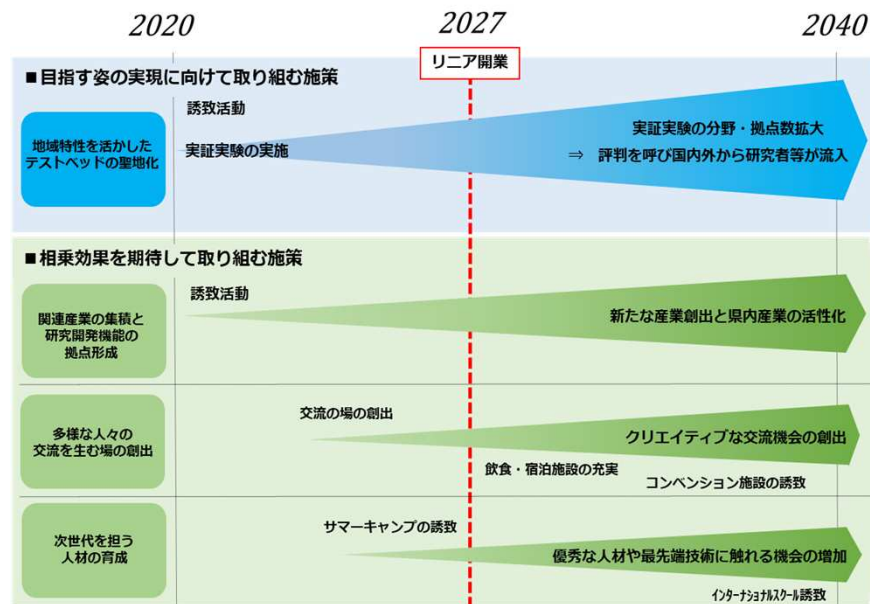
施策2：多様な人々の交流を生む場の創出

クリエイティブな人材や企業等を惹き付ける上質な交流空間を創出

施策3：次世代を担う人材の育成

グローバル人材や先端技術に触れられる環境を活かした技術者等の人材育成

4. 施策展開のイメージ



リニア開業効果を活かした取組による経済好循環の創出

県民が生活の豊かさを実感 (雇用の拡大・所得の向上)

II. 災害に強いリニアを活かした防災力の強化

1. 想定される巨大災害

- ・国土に激甚な被害をもたらす首都直下地震、南海トラフ地震等

2. 大規模地震発生時における国の防災拠点

- ・緊急災害対策本部は原則として首相官邸に設置され、代替施設が都内に三カ所
- ・人員・物資について広域的な支援を行う基幹的広域防災拠点（有明の丘など）

3. 国の防災バックアップ機能の本県への誘致

- ・国の防災バックアップ機能を誘致するとともに、本県自身の防災力を強化し、県民の安全・安心の確保、企業立地を促進

III. 開業に向けて特に必要となる社会基盤の整備

1. 新たなゲートウェイに必要となる機能

- ・円滑な移動や乗り換えができる交通結節機能の整備
- ・その他、飲食・物販、宿泊のサービス機能など、駅周辺に立地が期待できる各種機能は、まちづくり政策等で民間資本の誘致や誘導を検討

2. 県内交通ネットワークの充実

- ・開業効果を県内全域へ波及させるため、リニア駅を中心としたアクセスを向上
アクセス圏域を拡大する道路整備を着実に推進（中部横断道、新山梨環状道路等）
リニア駅と県内主要拠点を結ぶバス交通の整備

3. 5G環境の整備

- ・テストベッドの呼び水とするため、事業者が5Gサービスを活用しやすい環境を整備
5G基地局アンテナの設置に係る公共施設等の開放
県の情報ハイウェイの活用によるローカル5G等の拠点間通信の実現